

第 104 回関東学生陸上競技対校選手権大会

競技注意事項

2025. 4. 25 時点

1. 規則について

本大会は 2025 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会要項および本大会の申し合わせ事項により実施する。

2. 競技場使用上の注意

- 1) 当該種目出場競技者、競技役員、主催者が許可した報道関係者以外は、競技エリアへの立ち入りを禁止する。
- 2) フィールド競技の練習は競技役員の指示に従い、競技開始前に各々の競技場所にて行うこと。
- 3) グラウンドおよび練習場では、競技場保護のため水以外の飲料の持ち込みは厳禁とする。
- 4) トレーナー活動は、各大学の待機場所にて行うこと。
- 5) 練習は相模原ギオンフィールド（競技実施中は一部制限あり）および雨天練習場を利用し、競技役員の指示には必ず従うこと。なお、練習場の詳細については、練習場注意事項を参照すること。

3. 競技者の招集について

- 1) 招集所は、100m スタート地点後方の A ゲート（諸室図参照）に設置する。
- 2) 各種目の招集開始・完了時刻は競技日程に記載の通りとする。
- 3) 招集開始時刻に競技者係から競技者本人が点呼を受ける。その際、アスリートビブス、競技靴、スパイクピン、競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ等の商標のチェックを行う。また、荷物運搬袋および、トラック種目出場者のみ腰ナンバー標識（2 枚）を受け取ること。
- 4) 競技者はビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技エリア内に持ち込んで서는ならない。スマートウォッチについては電波を発信しない状態（機内モードなど）に設定している場合のみ、持ち込みを認める。
- 5) 代理人による点呼は認めない。ただし、2 種目以上を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が TIC（招集所前）または大会インフォメーションに用意している「重複出場届」を、**招集を受けることができない種目の招集開始時刻までに TIC（招集所前）に提出すること。**
- 6) 招集完了時刻に遅れた場合や、「重複出場届」および「リレーオーダー用紙」がそれぞれの指定された時刻までに TIC（招集所前）に提出されない場合、当該種目を欠場したものとして処理する。
- 7) 招集開始および完了は、招集所に設置されている時計を基準として行う。
- 8) リレー種目は、オーダー変更の有無にかかわらず、ラウンドごとに、その都度オーダー用紙に記入して、**当該種目第 1 組の招集完了時刻 1 時間前までに TIC（招集所前）に提出すること。**なお、オーダー用紙は大学受付にて配付する ID とアスリートビブスに同封する。
- 9) 棒高跳の練習は競技実施場所で競技開始時刻 1 時間 40 分前から行うことができる。また棒高跳の招集は競技実施場所にて行う。
- 10) 混成競技の招集時刻については 8. 競技について 4) を参照すること。

4. アスリートビブスについて

- 1) アスリートビブスは 1 名につき 2 枚配付する。そのままの大きさで胸と背に確実につけること。ただし、跳躍種目出場者は胸または背だけでもよい。
- 2) トラック種目出場者は、競技者係（招集所）が配付する腰ナンバー標識を両腰の上部、やや後ろにつけること。なお、5000m、10000m、10000mW においては、周回の確認のため、トランスポンダー付き腰ナンバー標識を使用する。トランスポンダー付きの腰ナンバー標識は左腰につけ、通常の腰ナンバー標識は右腰につけること。
- 3) 5000m、10000m、10000mW、4×400mR に出場する競技者には、レース用特別アスリートビブスを配付する。**当該種目第 1 組の招集完了時刻 1 時間前までに TIC（招集所前）に受け取りに来ること。**混成競技出場者には、最終種目開始前に特別アスリートビブスを配付する。
- 4) ハーフマラソンに出場する競技者は、招集時に特別アスリートビブスを配付する。

- 5) アスリートビブスの地色、数字の色は次表の通りとする。

部門・種目	アスリートビブス
男子 1 部	オレンジ地×黒数字
男子 2 部・3 部	青地×黒数字
女子 1 部・2 部 ・七種競技 800m	ピンク地×黒数字
5000m・10000m・ハーフマラソン・10000mW・4×400mR (男子 1 部)	黄地×黒数字
5000m・10000m・10000mW・4×400mR (男子 2 部・3 部、女子 1 部・2 部) ハーフマラソン (男子 2 部・3 部) 十種競技 1500m (男子 1 部・2 部・3 部)	白地×黒数字

5. 欠場について

エントリー後、病気または事故等により、やむなく欠場する場合は、5 月 7 日 (水) 12 時 00 分(正午)までは、本連盟ウェブサイトに掲載をしている欠場届を印刷し、必要事項を記入、押印したものを指定アドレス(kanto-entry@kgrr.org)に送信すること。

また、5 月 7 日 (水) 12 時 00 分(正午)以降に欠場を申し出る場合は、欠場届に必要事項を記入、押印し TIC (招集所前) に提出すること。欠場届はアスリートビブス等の事前配付物に 5 枚同封しているが、不足の場合は大会本部指定の用紙を TIC (招集所前)、または大会インフォメーションに取りに来ること。

6. 競技の抽選・番組編成

- トラック種目のレーン順・フィールド種目の試技順は、プログラムに記載通りとする。
- 予選・準決勝の組み合わせにおいて、成績に基づく順列で同じ組に同一大学所属の競技者が複数入る場合は、ランキングに大きな変動を及ぼさない範囲で異なる組に入れるよう配慮する。また、準決勝以降のレーン順は主催者が公平に抽選する。
- タイムによる次ラウンドへの進出者(チーム)を決定する時に、最終枠に同記録(0.001 秒単位)がありレーンが不足する場合は、当該競技者もしくはその委任を受けた代理人により抽選を行い、進出者(チーム)を決定する。

7. 用器具について

- 競技に使用する用器具(投てき物・棒高跳用ポールを除く)は、すべて主催者が用意したものを使わなければならない。
- 棒高跳の練習に関しては、主催者が用意するゴム製バーを使用して行うこと。
- 投てき物に関して、主催者が用意した投てき物としてリストに複数ないものについては、検査に合格した個人所有のもの(日本陸連検定品かつ WA 認証品に限る)を 2 個まで持ち込むことができる。
- 投てき物の持ち込みを希望する場合は、**事前に申請書を記入し、競技開始の 1 時間 30 分前～1 時間前までに器具庫 A (諸室図参照) にて受付を行い、公式計測員による検査を受け、使用することができる。**なお、検査に合格した投てき物は主催者で借り上げ、競技者全員が使用できるものとする。また、破損等については持ち込み者個人の責任とし、主催者が責任を負うことはない。持ち込みの投てき物は競技終了後、器具庫 A にて返却する。

8. 競技について

- トラック競技について
 - 計時はすべて電気計時(0.01 秒)を用いて行う。
 - 200m までの競技は、気象条件によっては、バックストレートで実施する場合がある。なお、競技開始時刻の 2 時間前を目安に決定する。
 - 5000m 以上の種目では、バックストレートに給水所を設置し、水およびスポンジを用意する。
 - 10000mW では、先頭の競技者が残り 1 周となっても競歩審判員は移動しない。残り 100m からフィニッシュまでの間で、競技者の歩型が競技規則 TR54.2 に明らかに反する時には、競歩審判員主任はその競技者に既に出されたレッドカードの有無にかかわらず、当該競技者を単独で失格にする権限を有するものとする。
- リレー競技について
 - リレーメンバーに関しては、TR24.10 [国際] を適用し、リレー・チームのメンバーは、どのラウンドにおいても、その競技会のリレー競技または他の種目に申し込んでいる競技者であれば、誰でも出場することができる。
 - 最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、最大 4 名まで他の競技者と交代することができる。

3) 跳躍競技について

- ① 三段跳の踏切板の位置は、砂場の近いほうの端から男子 13m、女子 10mとする。
- ② 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。(ただし、天候等の状況により変更することもある)。※練習の高さは競技場所にて複数提示され、競技者はその中から選択する。

種目・種別		1	2	3	4	5	以降			
走高跳	男子 1 部	1m95	2m00	2m04	2m07	2m10	最後の 1 人になり 優勝者が決まるまでは 3cm 刻み			
	男子 2・3 部	1m90	1m95	2m00	2m04	2m07				
	女子 1・2 部	1m60	1m64	1m67	1m70	1m73				
種目・種別		1	2	3	4	5	6	7	8	以降
棒高跳	男子 1 部	4m72	4m82	4m92	5m02	5m12	5m22	5m32	5m37	最後の 1 人になり 優勝者が決まるまでは 5cm 刻み
	男子 2・3 部	4m22	4m32	4m42	4m52	4m62	4m72	4m82	4m87	
	女子 1・2 部	3m32	3m52	3m62	3m72	3m82	3m92	4m02	4m07	

4) 混成競技について

- ① 招集は 1 日目、2 日目の最初の競技種目でのみ招集所で行う。招集時刻は競技開始時刻の 30 分前に開始し、20 分前に完了とする。ただし、七種競技 2 日目の走幅跳は 60 分前に開始し、50 分前に完了とする。なお、以後の招集は行わない。競技者は次の種目からは混成競技者控室に待機し、混成競技係の指示を受けること。
- ② 混成競技者控室は、選手用ロッカールーム A に設置する。
- ③ 混成競技者控室への付添、コーチ等の出入りは認めない。
- ④ 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする (ただし、天候等の状況により変更することもある)。※練習の高さは、競技場所にて複数提示され、競技者はその中から選択する。

種目・種別		1	2	3	4	5	6	7	以降
走高跳	男子	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	3cm 刻み
	女子	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	
棒高跳	男子	2m70	3m00	3m30	3m60	3m80	4m00	4m10	10cm 刻み

5) ハーフマラソンについて

競技開始 1 時間 10 分後で相模原ギオンスタジアム C ゲートを閉鎖する。C ゲートを通過できなかった競技者は以降の走行を止め、競技役員の指示に従う。フィニッシュできなかった競技者はその時点で失格とする。

6) 助力について

- ① 当該競技に関係するしないに関わらず、競技役員がある競技者に対して他競技者よりも有益となるような助言またはその他の支援を提供することは、当該競技者への助力とみなす。
- ② 周回遅れか、周回遅れになりそうな競技者が先行する競技者のペースメーカーとして競技をした場合、または先行する競技者が周回遅れの競技者のペースメーカーとして競技をした場合、両者を失格として扱う。
- ③ フィールド種目に出場している競技者に対して、録画映像を提供する者のすぐ近く（コーチングエリア近辺）であれば、録画した機材（ビデオ装置・携帯電話等）を競技者自身が手に取り、操作して確認することが認められる。しかし、競技者自身が録画機材等を招集所から持ち込むこと、映像確認後に競技場所等へ録画機器を持ち込むことは禁止とする。

7) コーチングエリアについて

監督・コーチエリアをメインスタンド・サイドスタンド・バックスタンドに設ける。

9. 表彰について

① 総合

- 1) 男子 1 部：総合優勝校に総合優勝杯および総合優勝旗
トラック優勝校に優勝杯、フィールド優勝校に優勝杯、多種目優勝校に優勝杯
- 2) 男子 2 部：総合優勝校に総合優勝杯、トラック優勝校に優勝杯、フィールド優勝校に優勝杯
- 3) 男子 3 部：総合優勝校に総合優勝杯

4) 女子 1 部：総合優勝校に総合優勝杯および総合優勝旗

トラック優勝校に優勝杯、フィールド優勝校に優勝杯、多種目優勝校に優勝杯

5) 女子 2 部：総合優勝校に総合優勝杯

※男子 1 部および女子 1 部の多種目優勝校が複数となった場合は、該当校全てを多種目優勝として優勝杯は持ち回りとする。

②個人

1) 男子 1 部、女子 1 部の選手権獲得者および男子 2 部優勝者には優勝杯、3 位までの入賞者にはメダル、8 位までの入賞者には賞状を授与する。また、男子 3 部および女子 2 部の 3 位までの入賞者には賞状を授与する。

2) 男子 1 部・2 部、女子 1 部の各種目 3 位までに入賞した競技者は、競技終了後に表彰を行う。競技終了後、速やかにメインエントランスの表彰控え場所に集合し、式典表彰係の指示に従うこと。

3) 表彰を受ける際は、上は各校の公式 T シャツあるいはジャージ、下は公式ジャージを着用すること。また、必ず**アスリートビブスも着用**すること。

4) 代理表彰は一切認めず、不在の場合は空席として表彰を行う。

5) 男子 1 部・2 部、女子 1 部の各種目 4 位から 8 位までに入賞した競技者は、大会期間中に大会インフォメーションで賞状を受け取ること。

6) 全競技終了後、本大会最優秀選手を男子 1 部、同 2 部および女子 1 部より各 1 名選出し、表彰する。

10. 対校得点および順位

1) 総合、トラック、フィールド優勝校は、最得多点校 1 校とする。

2) 得点は、男子 1 部・2 部、女子 1 部は各種目 1 位 8 点から 8 位 1 点まで 1 点刻みとする。また、男子 3 部および女子 2 部は、1 位 3 点、2 位 2 点、3 位 1 点とする。

同順位により、対校得点を割る場合には小数計算(ただし、同順位が小数計算で算出できない場合は分数計算とする)を行う。その計算は、記録・情報処理員が行う。

3) 最得多点校が 2 校以上ある場合は、優勝種目数の多い順で決定し、これで決定しない場合は 2 位の種目数の多い順で決定し、それでも決定しない場合は、以下同様に順次 8 位まで種目数の多い順で決定する。これで決定しない場合は男女ともに 4×400mR の順位で決定する。

4) 2 位以下の順位は得点順とし、同得点の場合は、3) に準じて決定する。これで決定しない場合は、同順位とする。

5) 男子 1 部・2 部の入れ替えについては、2 部優勝校と 2 位校が次年度 1 部に昇格する。また 1 部においては下位の 2 校が 2 部に降格する。また 1 部最下位校が無得点で 3 校以上となった場合は、その全大学が 2 部に降格し、同数の 2 部上位校が 1 部に昇格する。また、1 部最下位校が同得点で 3 校以上並び、3) によっても順位がつかない場合は抽選により 2 校が 2 部に降格し、同数の 2 部上位校が 1 部に昇格する。

11. 男子 3 部・女子 2 部について

1) 番組編成について

男子 3 部は同 2 部、女子 2 部は同 1 部の予選の番組編成に組み入れ、タイムレース決勝とする。ただし、レーンを使用するトラック種目において、同一種目に 3 名以上の申し込みがあった場合は、男子 3 部、女子 2 部のみで 1 つの組を編成することがある。なお、その場合は、男子 3 部は同 2 部、女子 2 部は同 1 部の決勝の前に組み入れる。フィールド種目の試技順については、男子 2 部、女子 1 部の後に組み込む。

2) 競技について

① フィールド競技について

走幅跳、三段跳、投てき種目については、3 回の試技で順位を決定する。

走高跳、棒高跳については、男子 2 部、女子 1 部と同様の試技回数とする。

② 混成競技について

フィールド種目の試技順については、男子 2 部、女子 1 部の後に組み込む。

3) 表彰について

各種目 3 位までに入賞した競技者は、大会期間中に大会インフォメーションで賞状を受け取ること。なお、種目別表彰は行わない。

4) 対校得点および順位について

① 総合優勝校の決め方については、10. 対校得点および順位と同様とする。

② 男子 3 部および女子 2 部の入れ替えは行わない。

12. 結果発表と抗議について

- 1) 各種目の結果の正式発表は大型スクリーンで行う。
- 2) トラック種目のスタートに関して、現場での抗議（競技中の抗議）があった場合、「抗議中」として赤白カードを提示した上で、競技をすることが認められる。
- 3) フィールド種目において、現場での抗議（競技中の抗議）があった場合、審判長により該当する事項を保全するためにその試技を計測、記録することが認められる。
- 4) 競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が正式発表されてから30分以内（同一日に次のラウンドがある場合は15分以内）に、TIC（招集所前）にある抗議受付用紙に記入する。その後、担当総務員（大会本部に常駐）を通じて審判長に伝達される。時間内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものとみなす。抗議に対して審判長は速やかに裁定を行う。

その裁定を不服とし、さらに抗議をする場合は、上訴申立書（大会本部に用意）に必要事項を記入し、預託金10,000円を添えて上訴することができる。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。この間の事務的処理は担当総務員が行い、抗議者は抗議室で待機すること。なお、抗議受付窓口はTIC（招集所前）に設置する。

13. 商標等について

競技者が競技エリアに商品名のついた衣類、バックなどを持ち込む場合は、日本陸上競技連盟の「競技会における広告および展示物に関する規程（国内）」を遵守すること。基準をこえる商標や競技役員から指導・指摘された場合は、必ずテープ等を貼って隠すこと。

14. 衣類の管理について

- 1) 荷物運搬用としてビニール袋を招集所で用意する。大学名、氏名、組数を招集所入口で記入すること。
- 2) スタート前に脱衣した衣類等は、ビニール袋に入れ競技役員が指示した場所に置くこと。これらの衣類は、ただちにフィニッシュ付近に運ばれるので、フィニッシュ後各自で受け取り退場すること。

15. 緊急車両・応急処置の手配について

- 1) 救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部および競技場の許可なく手配をしないこと。手配する場合は、競技場より車両の手配を行うので、詳細を含め大会本部に連絡すること。
- 2) 競技中の事故等による身体の故障の場合、医師が応急処置を行うが、事故の結果について主催者は一切責任を負わないものとする。また、治療費等は本人負担とする。ただし、2025年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

16. その他

- 1) 競技終了後は、必ずミックスゾーンを通ること。
- 2) 本大会は開会式・閉会式を実施する。実施方法については、別途連絡する。
- 3) 本大会では、以下の区域に立ち入る者は、指定のIDカードを所持していなければならない。競技者は必ずIDカードをつけ、アスリートビブスでの規制エリア内への入場は認めない。ただし、招集を受けた後はその限りではない。

規制エリア	入場可能ID（いずれか1つで可）
雨天練習場	競技役員・チームスタッフ・選手
監督・コーチエリア	競技役員・チームスタッフ
グラウンド・招集所・ミックスゾーン	競技役員・選手
各諸室	競技役員

- 4) 競技中に不測の事態が発生した場合は大会本部の指示に従うこと。その他、不明な点は大会本部に問い合わせること。